

Feature Articles

13 ケーブルテレビ2023

- 14 キッズステーション 16 WOWOW & WOWOWプラス
18 オーエスエスブロードネット 20 TVS REGZA
22 ニューメディア「ロコテレ」 24 イノコス & Harmonic

- 26 総務省
28 石見ケーブルビジョン
30 スターキャット・ケーブルネットワーク
32 JCOM

34 「ケーブルコンベンション2023」&「ケーブル技術ショー2023」

36 「ケーブル技術ショー2023」注目ソリューション

パナソニック コネクト/古河電気工業/シンクレイヤ/住友電気工業/
サイバー・ネット・コミュニケーションズ/イノコス/ニューメディア/JPIX/朋栄/
データブロード/ネットセーブ/東亜ソフトウェア/ガンスイ/キャノンマーケティングジャパン

Series

6 JDS Challenge 「みるプラス」

Close-Up Cable-TV & New Solution

8 CAC 10 サイバー・ネット・コミュニケーションズ

Special Topic

71 池波正太郎 生誕100年企画『鬼平犯科帳』

Convention Report

54 「GISコミュニティフォーラム」と「ワイヤレス ジャパン2023」 取材・文/神谷直亮

Interview Series

わが社の2030ケーブルビジョン
44 田崎健治氏 福井ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長

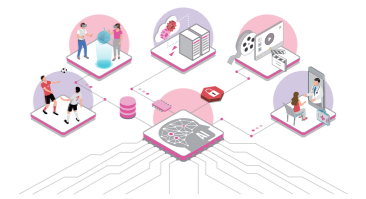
Series Articles and Columns

- 46 放送ビジネスの政治経済学 ⑦⑥ 文/音 好宏
48 メディア・リサーチ 「ドラマは“放送後が勝負”の時代へ」 文/鈴木祐司
50 世界のメディア曼陀羅華「医療現場のスタッフも高齢化の時代」 ②⑤⑥ 文/猪股英紀
56 アジア衛星TV最新情報 ②⑤⑥ 文/長瀬博之
58 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
63 自他傍和困我也(じたばたわいがや) ⑦ 文/穂積 融
64 Official Information
衛星放送協会 / スカパーJ-SAT / 日本ケーブルテレビ連盟 / 日本CATV技術協会 / 日本ケーブルラボ / インテルサット / CRI
72 地産飛翔~ケーブルビジネス関連動向(機器チェック!)
73 考えるメディア ②⑤⑥ 文/福田 淳
74 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ①⑥⑧ 文/喰 始
75 Information 新作映画紹介 & Convention

DATA

- 77 定期購読のおすすめ
78 購読オーダーシート

※地産飛翔&NEWS FILEはお休みいたします。
※CS-CHANNEL RANKINGはHPに掲載しております。



〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSベイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2023年7月10日に弊社HP (<https://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2023年7月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

CLOSE SHOT

番組技術展をリニューアル!「NHK Tech EXPO 2023」開催

NHKは、「NHK Tech EXPO 2023」を6月12~14日にNHK放送センターにて開催した。

「NHK Tech EXPO」は、以前の「NHK番組技術展」をリニューアルしたことで、放送現場で得たノウハウやアイデアなどを活かしてNHK各局が開発した最新の機器と、番組制作や緊急報道を支える新たな取り組みを紹介するもの。

会場内は「コンテンツ制作」「視聴者サービス体験」「放送

確保・安定送出」と分野ごとに分かれた展示が行われた。

「コンテンツ制作」では、ロケット打ち上げシーンを撮影するために開発された「12Kマルチカメラシステム」(4式の6Kカメラを組み合わせることで縦方向の12K映像を取得)、スポーツ中継時の点数表示などのテロップを場所を選ばずどこでも作成できる「テロップ作業リモートワークシステム」、フリップボード上にARをリアルタイム表示する機能をPC1台で実現した「デジタル・パターン」などが展示された。

「視聴者サービス体験」では、インカメラVFXが注目を集めた。同技術は、ハリウッドでも使われている最新の映像制作手法のひとつで、従来のようにブルー/グリーンバック

を使わず、スタジオにいながら屋外ロケのようなシチュエーションをセットとLEDスクリーン上に作り、撮影するもの。NHKでは「どうする家康」から本格的に活用しており、Tech EXPOでは、そのミニチュア版が展示され、実際に撮影した映像を楽しむことができた。



12Kマルチカメラシステム

インカメラVFX

